

What makes someone special?
I suppose it all depends.
It's what's unique in
each of us.

-Little Mermaid-

CS通信

Clinical Simulation Center's Newsletter

第23号

2018.8月発行

臨床シミュレーションセンター

まるで梅雨のような長雨が続いた今年の初夏。じめじめとした空気で身体がだるい日も続いたかと思います。これからが夏本番。今夏は大変暑い日が続いておりますが、バテないよう栄養をつけて、元気に乗り切っていきましょう♪

「レサシアンシミュレータ PLUS」教育サービス研修会 レポート

5月26日(土)に、昨年度末に購入したレールダルの「レサシアンシミュレータ PLUS」の教育サービス研修会を開催いたしました。救急科の医師や看護師、看護学科の教職員の方などにご参加を頂きました。

今回の研修会のコース内容は、

- ①イントロダクション
- ②レサシアンシミュレータの構成と機能
- ③SimPad 操作の実践
- ④SimPad プログラミング (テーマエディタ)
- ⑤シナリオを用いた教育



となっており、最終的な目標は、シミュレーション演習の概要を理解すること、操作リモコンの SimPad の操作ができること、シミュレータの機能がわかること、受講後に既に入っているシナリオを操作できることでした。

講師を務めて下さったのは、レールダルの教育ソリューションスペシャリストとして活躍されている亀岡正二さん。亀岡さんは今回のような講習会を全国各地で開催し、そのインストラクターを務めていらっしゃいます。

シミュレータの構成や機能を一通り学んだ後、挿管練習や CPR の訓練をしていきました。レサシアンシミュレータ PLUS は頭部後屈顎先拳上や下顎拳上をしっかりと認識し、SimPad にはそのログが残るようになっていきます。そして実際に人形に挿管器具を挿れ、空気を送り込んで胸が上下するのを確認することができます。盲目的に挿管すれば食道挿管にもなり、腹部がぼこっと膨らむのも確認できます。

レサシアンシミュレータ PLUS とは

プレホスピタルおよび病院内の環境の両方における独特なトレーニングのためにデザインされた患者シミュレータ。肺や心臓音、自発呼吸をリアルに再現し、気管内チューブと声門上気道デバイスによる高品質な気道管理や現場での除細動と同期された ECG、IV 挿入、血圧の聴診、脈拍のモニタリングなど、多岐にわたる蘇生訓練を行うことができます。



CPR の訓練では、圧迫の際、押し込んだ深さや戻したときの状態がモニターにグラフで細かに表示され、自分が胸を押し込むのと戻すのとどちらの動作を上手くできていなかったのかなどをフィードバックできるようになっています。さらに、実際に除細動器を用いてショックをかけることもでき、ショックをかけたことがなかった看護師や教職員の方々は、とても興味津々にショックをかけていらっしゃいました。

最後は、SimPad を用いたシナリオの作成作業 (プログラミング) となりました。受講者の方々に SimPad のアプリが入ったパソコンが渡され、パソコン上で心拍数や呼吸数、血圧などを設定し、シナリオを作成していきます。作成したシナリオは SimPad に転送でき、それを呼び出して実際に人形を用いて訓練をすることができます。

最初は、除細動器をかけた直後に患者（人形）が目覚めるなど、適切な数値のタイミングを見つけるのが難しかったようですが、数値等はすぐ書き換えたりすることが可能なので、何度か設定を見直しているうちにスムーズなシナリオを作成することが出来るようになっていました。

あっという間に時間は経ち、皆さま満足して帰られたように見受けられ、とても有意義な研修会となりました。ご参加いただきました皆様、そして講師を務めて下さった亀岡様、ご協力を頂きましたレールダル社の方々、本当にありがとうございました。

講師を務めて下さった亀岡様よりコメントを頂戴しました！

レールダルメディカルジャパンの亀岡正こと申します。私は教育ソリューションサービスチームに在籍しており、シミュレータを購入していただいた施設様に、そのシミュレータを活用してのシミュレーション教育コースを提供しております。

レールダル教育コースは、ハンズオン形式で直接触れて、操作いただき、シミュレータの機能や操作方法について学んでいただきます。インストラクターが実践的の双方向コンテンツを使用したシミュレーションにおける最善の実践を実施する補助として、インストラクター主導オンサイトコースを提供しています。コースは、開始方法から、基本的シミュレーション、シミュレータの高度使用まで多岐にわたります。また、より特定のニーズを補助する、相談式およびカスタムソリューションも提供しています。

研究によると、医療従事者のスキルはトレーニング受講後の3カ月後から低下が始まります。大半の医療従事者は、トレーニングの間隔が頻繁でないとスキルを保持するのに必要な知識、スキルを得ることができません。予期せぬ事態に遭遇した時、迅速かつ正確に対応する能力は医療従事者にとって極めて重要です。その際に「どうすべきか」を知るただ1つの方法は実際の状況を想定したシミュレーショントレーニングを施設内で行う事です。

今後、多くのスタッフの皆様が、シミュレーショントレーニングを実施する機会を増やしていただき、臨床知識、スキル、態度がよりいっそう向上できるようレールダルも貢献できればと考えております。

亀岡様、ありがとうございました！

研修医レクチャーのお知らせ

開催が予定されている研修医レクチャーは以下の通りです。（コンピュータアシストラボ/18:30～）

| 日程 | 担当講師 | 内容 |
|----------|------|-------------|
| 8月10日（金） | 松坂先生 | カテーテル感染症（仮） |

※予定の変更も有り得ます。詳しくは救急医学講座か卒後臨床研修センターへお問い合わせください。

冷房の消し忘れにご注意を！

夜間や休日の使用後、冷房が点けばなしになっていることがあります。

翌朝スタッフが出勤すると、ラボ内がキンキンに冷えて身震いするほど寒くなっています。

使用後は必ず冷房のスイッチを切って頂きますようお願い致します。

節電の意識を忘れずに！

CSC スタッフは冷えると手足に蕁麻疹が出て困るから勘弁してね！

使用簿への記入をお願い致します

センター利用後は、退室時に必ず使用簿への記入をお願い致します。

使用簿はセンターの利用実績に大きく関わっています。

新規のシミュレータの購入や設備の充実は、利用実績があって適うものです。今後、センターが有効的に活用されるよう、使用簿への記入にどうぞご協力ください。

旭川医科大学 臨床シミュレーションセンター
内線：2860 スタッフ：渡邊/菊地/尾形
<http://www.asahikawa-med.ac.jp/simu/AMUSIMU/index.html>
E-mail: skillslab@asahikawa-med.ac.jp